

あきらめずに
プラス思考で

【市長】 師匠は、全国各地でまちを元気にする多彩なイベントを開催していますよね。そのアイデアはどこからくるんですか？

【寛平】 僕自身は思いついたことが面白ければ、すぐにやってみるんです。

【市長】 それもまた挑戦ですよね。挑戦し続ける人ってどんな人でしょうか。【寛平】 どうやる。やっぱり「まずはやってみる人」かな。アースマラソンの時は、ぱっと思いついて「俺、地球一周したいねんけど」ってスタッフに振ったら、一生懸命プランを考えてくれるんですよ。だからこそ、そのアイデアを尊重して絶対に実行する。実際に挑戦するときには多くの人がサポートしてくれるんです。そんな経験からみんなにも、「まずはやってみる、誰かが応援してくれるから」って言うんですよ。

【市長】 日本フェンシング協会と包括連携協定を結んだのは、全国初の取組です。当時会長であった太田雄貴さん（北京・ロンドン五輪メダリスト）のもとを訪ねてスポーツを通じたまちづくりの熱い想いをぶつけてみたんです。そしたらとんとん拍子で話が進み、今では「フェンシングのまち沼津」が定着



アメマナイトマラソンの記者会見を自ら盛り上げる寛平さん。今年の目標は「とにかく雨を降らさないこと」。

【市長】 今年度、市制100周年という節目を迎えた沼津は、商都として県東部の拠点的な役割を担ってきました。昭和32年に地方初出店となった西武百貨店沼津店は今の沼津ラクーンよしもと劇場の場所に位置していたんです。ご高齢の市民の人からは「昔の沼津は良かった」という声も聞かれますが、これまで取り組んできた色々なチャレンジが実を結び始めています。次の100年に向けた新たなまちづくりで市民の皆さんとともに挑戦していきたいです。



【寛平】 次の100年で、僕らもういいじゃないん。そんな先のことなんてわかるかーい(笑)。とりあえずは10年先くらいを見据えないと。でも、20年後はこの広報ぬまづを読んでいる人が市長をやっているかもわからんね。

【市長】 師匠のおっしゃる通り。10年ごとの積み重ねが100年になっていく。この市制100周年の区切りで、市民の皆さんや沼津市に関わる多くの人々がどう考えどう行動するかで今後の100年が変わってくる。新たな挑戦の一步を踏み出す時です。次世代に確実にバトンを渡していきたいですよな。

【寛平】 2年くらい前から吉本新喜劇の出前ツアーをやっていて、ときには僕も若い座長の下で出演するんですよ。長い歴史のある新喜劇のお笑いはこんなにおもしろいってことを、全国に広めて、ずっと続いていくように、頑張っ

て道を作っているんですよ。

【市長】 それは責任重大ですね。

【寛平】 今の若い人も30年も40年も経ったら、「昔は良かった」って言いますよ？お笑いも一緒ですわ。「昔はおもしろかったなあ」で。昔のことはいいんですよ。未来のためにも今、一生懸命やらなね。



して、つい先日は全日本フェンシング選手権大会が開催されるまでに至りました。

【寛平】 動いてみればうまいこといくでしょ？僕、おもしろいの埋もれてる若手芸人を集めて「劇団間座」を立ち上げたんです。芝居を始める時に「脚本は宮藤官九郎さんに書いてもらおう」とひらめいて、初対面でいきなりお願いしてみたいんです。そしたら「歌でよければ」と作ってくれて、舞台も見に来てくれた。最初は、みんなが「無理や」って言うってんですけど、やってみれば良いことがありますよ。

【市長】 寛平師匠らしいですね。【寛平】 あと、甲本ヒロトの歌が気に入ったから「フジロックで歌う曲を頼んでくるわ」って彼の事務所に行ってみたの。もちろん面識ない。吉本にも止められたけど「大丈夫、大丈夫」って行ってみたらほんまに書いてくれた。僕もびびくりしたけど(笑)。

【市長】 そしてプラス思考で挑戦する。これからの新しいまちを自分たちでつくり上げるスタートラインに立っていると、市民の皆さんにも強く感じてほしいです。

【寛平】 失敗を恐れず、とにかく挑戦することですわ。次の100年のため

【市長】 果敢にチャレンジすることは大事ですね。沼津で挑戦し続けているのがまちづくりの核、沼津駅周辺総合整備事業です。その中でも重要な鉄道高架事業において新貨物ターミナルの工事着工式を、令和4年1月によりやく迎えることができました。沼津だけでなく、静岡県東部地域の発展のために必要な事業だと、目標を明確にし、挑戦し続ける大切さを学びました。

【寛平】 もうあかんと思ったらだめなんですわ。やっぱりチャレンジすることですわ。

【市長】 加えて成功するためにはプラス思考が大事ですね。ポジティブに物事を考えるから良いアイデアも出てくるんですよ。

【寛平】 僕はマイナスの思考が全くない。だから引き算はできへん、割り算も。足し算と掛け算しかできません。

【市長】 なるほど！そのフレーズ、今度どこかで使わせていただきます！



ふるさと納税応援隊長にも就任していただいています。沼津市のふるさと納税も好評です。

と一緒に考えていきましょう。

【市長】 本日はいいお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございます。

【寛平】 3月に開催する寛平アメマナイトマラソンで沼津と一緒に盛り上げましょう！



ポジティブに進めていきたいですね。

足し算と掛け算が
できればええの！